

2008年度

科目名 児童サービス論	対象学科・学年 文学部全学科2回生 教育教福2回生 人間人社2回生	担当者 中道 厚子
授業テーマ 児童サービスの理論と実践を学び、実際に児童サービスを実践できる図書館員の育成をめざす。		
授業の概要と目標 公共図書館で行われる児童サービスの基本目的は、所蔵する児童資料を媒介として子どもたちに本を読むおもしろさ・楽しさを知ってもらうことにある。本講義では、一人でも多くの子どもたちが、自発的に読書する習慣を身に付け、さらに読書することによって、豊かな心をもつ人間性にあふれた大人へと成長できるよう、図書館員としてどんなサービスを行えばよいかを具体的に学ぶ。		
評価方法 課題への取り組み姿勢と、レポートで評価する。		
テキスト 必要に応じて指示	著者	出版社
参考書 必要に応じて指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童サービスとはなにか <ol style="list-style-type: none"> ①歴史 ②意義 ③これから 2. 児童の発達段階と読書 <ol style="list-style-type: none"> ①公共図書館と児童 ②発達段階と読書1 ③発達段階と読書2 3. 児童のための図書館資料 <ol style="list-style-type: none"> ①蔵書構成1 ②蔵書構成2 ③資料の整理と管理 4. 児童サービスの実際 <ol style="list-style-type: none"> ①基本的なサービス ②フロアワーク1 ③フロアワーク2 5. 児童サービスがつくる新しい可能性 <ol style="list-style-type: none"> ①地域に果たす役割 ②学校図書館との連携 ③その他 		